



第81号
平成19年8月

子育て施設課
電話 0823-25-3144

感染症シリーズ1

【 夏に多い子どもの病気 】

手足口病

原因

一つのウイルスではなく、エンテロウイルス71やコクサッキーウイルスA16、10など複数のウイルスが原因であるため、何度かかかることがあります。

主症状

手のひら・足の甲・手足の指・唇やほおの内側・舌などに現れる小さな水泡状の発疹ですが、肘や膝あるいはお尻にも見られることがあります。

発熱を伴うことがありますが、高熱になることはまれです。

のどの痛みで食べられなくなり、水分も取りにくい時は、脱水症状になることがあるので注意が必要です。

潜伏期間は3日～1週間程度ですが、2～4週間はウイルスが便から排泄されています。



感染経路

飛まつ感染です。また、便から経口感染することもあります。

予防

日頃からうがい



手洗い



をして予防
しましょう。

登校基準（平成10年学校保健法。保育所、幼稚園は学校保健法の基準に準拠）

症状は一般的に軽いので、登所(園)の判断に困ることがあります。

全身状態が安定した者については登所(園)可能とされています。

登所(園)基準はあくまで参考ですから、登所(園)許可は嘱託医または主治医に相談してください。

みずいぼ（伝染性軟属腫）

主 症 状

ウイルス性のいぼで、硬くてつやがあり、真ん中がくぼんでいます。

1～2mmの皮膚と同じ色のブツブツができ、しばらくすると3～4mmくらいまで大きくなり、どんどん増えていきます。

脇の下・脇腹・股の付け根など、皮膚と皮膚がすれあうところによくできます。体中に広がり、他の子どもにもうつる感染症です。

潜伏期間は2～7週間です。



感染経路

ヒトからヒトへの接触感染であり、肌と肌が触れ合うプールは感染機会の多い場所の一つです。直接感染以外にもタオルやビート板を介した間接の接触による感染も見られます。

対 応

数が少ない時期に除去することが周囲への感染を防ぐための必要な処置です。治療としては、ピンセットによる除去(圧出法)、硝酸銀の塗布などがあります。

とびひ

主 症 状

小さな水ぶくれができ、かゆみが強く、かくと水ぶくれが破れ、赤くただれてジュクジュクした湿った皮膚が現れます。また、季節に関係なく見られるかさぶた型もあります。

感染経路

水疱、ただれなどを特徴とする表在性皮膚細菌感染症です。接触感染で、虫刺されやすり傷に菌が感染して起こる病気です。

対 応

他の人への感染防止のため早めに受診しましょう。

薬は抗生物質の服用が早期治療に望ましいと考えられています。

入浴を避ける必要はありませんが、感染を防ぐため最後に入浴し、使用するタオルなどは分ける必要があります。

「手足口病」「みずいぼ」「とびひ」の病気はすべて、患者本人の治療だけでなく、集団生活においては他の人への感染拡大防止の配慮が必要です。